

計画策定の論点整理

開催済み 第1回スポーツ推進審議会（2016/7/22）

未開催 第1回スポーツ検討委員会（未開催） 第1回スポーツワーキング（未開催）

第2回スポーツ検討委員会（未開催） 第2回スポーツワーキング（未開催）

第3回スポーツ検討委員会（未開催） 第3回スポーツワーキング（未開催）

第2回スポーツ推進審議会（未開催）

開催済みの会議等における主な意見（提案、要望を含む）から、今後の論点を整理した。

番号	論点	主な意見
1	スポーツ団体へのきめ細かな支援の拡充	<p>1. 全国大会にも大小様々な大会がある。過去には全国大会と認められず、助成金が出されないケースもあった。助成金を出す全国大会の基準を知りたい。子どもが小規模な全国大会に出場しても助成ができれば、保護者やその団体の励みになる。</p> <p>（事務局回答）日本体育協会や中学校体育連盟など全国組織が主催する大会に助成金を出している。種目によっては様々な流派、組織の大会があるので、改めて確認する。</p> <p>2. 高齢者スポーツへの市の取り組みは不十分である。一方、高齢者の医療は充実している。病院の待合室にいる多くの高齢者をスポーツに引っ張り出せれば、医療費の削減にもつながる。スポーツ協会として信州大の研究のように、長岡市の医療費とスポーツの関係を調査していきたい。研究のための医療費等のデータを市から提供していただきたい。</p> <p>（事務局回答）市も提供できるデータは提供していきたい。</p>
2	スポーツによる高齢者の健康づくりの拡充	<p>3. 病院で患者に「膝が痛い、体重を減らすために運動することが良いのか」を尋ねられる。無理に運動すると膝痛は悪化するため、そのケースはエアロバイクが有効なのだが、市内にエアロバイク機器が十分に備わっていない。</p> <p>4. グランドゴルフは、車いす、杖、ペースメーカー装着でもできるスポーツ。この人達が入会した団体に人数に応じて補助金を加算するなどによって、すべての市民のスポーツや社会参加を支援できると思う。それが医療費の削減にもつながる。</p>

計画策定の論点整理

番号	論点	主な意見
3	スポーツによる子どもの健康障害の防止	<p>5. 小学生の野球は、健康を考慮した規定に変更することを提案する。1チーム9名では参加を認めないなど。</p> <p>6. 小学生の野球では、1日70球まで、7イニングまでなどの規則を設けており、現在も子どもの健康を考えた取り組みを行っている。</p> <p>7. スポーツ協会として、スポーツと子どもの健康についての意見交換を行っている。スポーツ医科学サポート機構から検討や提言をしていきたい。</p>
4	学校教育（体育）とスポーツとの連動のあり方	<p>8. 学校体育と社会体育という言葉は、別々のものという意識につながるので、教育とスポーツについて表現を整理してほしい。（社会スポーツなど。）</p> <p>9. スポーツ協会の「普及（すそ野を広げる）」と「強化（特性を高める）」という方向性によって、中体連の活動がやりやすく、小・中・高の連携がよくなった。</p> <p>10. スポーツを好きではない教職員にとって部活動の顧問や指導はブラック（ボランティアの強制）に近い。</p>
5	地域のスポーツ活動組織の整理または再構築	<p>11. 地域によっては総合型地域スポーツクラブとコミュニティセンターがほぼ同じ機能にもかかわらず、別々の組織であるがゆえに組織間の調整が非常に大変になる。今後、一本化するか、別々にするなど、位置づけを明確にしてほしい。</p> <p>12. 県から、「総合型地域スポーツクラブは地方創生の“要”になる」と言われた。この意識で活動していきたいので、本計画にはモチベーションを高めるようなことを盛り込んでほしい。</p> <p>13. 総合型地域スポーツクラブの補助金が5年で切れると、それ以降の維持が難しい。 （事務局回答）市として5年以降の補助を考えていきたい。</p> <p>14. 地域におけるスポーツ推進の基盤の再構築は必要である。 （事務局回答）地域によって総合型地域スポーツクラブの機能やあり方も異なる。各地域に応じた組織を構築していくことが大事。</p>
6	要望・意見	<p>15. 地域では、コミセン、老人会を中心にスポーツの普及を進めてきた。地域交流スポーツ大会が勝負にこだわる傾向になり、参加が上手な人に限定される。技術の低いクラスの試合ができず、参加者の意欲が低下する。大会の方法を変えて、大勢参加できるようにしてほしい。</p>

計画策定の論点整理

番号	論点	主な意見
		16. 地域住民挙げて生涯スポーツの振興として運動会に取り組んでいる。住民交流の場である運動会ができるよう施設整備をお願いしたい。
7	計画及び策定の進め方への意見 (上記以外)	<p>17. 計画は理想論でなく、できること、できないことを明確にし、具体的なものにしたい。</p> <p>18. 現行計画は素晴らしい成果を出していると思う。それを土台に前向きな計画にしたい。</p> <p>19. 子どもを「育てる」という視点からの取り組みを計画に盛り込んでいきたい。</p> <p>20. 計画の構成イメージに「育てる」がない。「育てる」は欠かせないと思う。 (事務局回答) 現時点ではあくまで構成イメージのため、構成は今後策定していく。</p> <p>21. 我々は地方創生の要という意識でスポーツの普及に取り組んでいる。しかし、スポーツを軽視する風潮とともに、市職員にスポーツの意識が浸透していないと感じられる。市職員全員にスポーツ政策の意義を浸透させてほしい。 (事務局回答) 市長の考えでもあり、検討員会や計画推進を通じて、他部署の職員も含め、スポーツの意識を全職員に浸透させていく。</p> <p>22. 地域で取り組んだスポーツ教室等に、男性の参加が低い。なぜ参加しないのか。地域のスポーツの普及の参考としたいので、アンケートの属性別クロス集計などのデータを提供していただきたい。 (事務局回答) 今後、必要な集計結果を提供していく。</p>